次のページ

小学校30人規模学級について

大橋利彦　議員

問：大橋利彦議員
旧富士見村から継承された事務で、終結しない事務が残っているが、その解消方法について。

答：矢嶋町長
経緯を調査し、それぞれについて解決をしていく。

問
福祉医療特別給付金は「自動給付」になっているが、評価と問題点は。

答：町長
従来は、給付金申請は役場窓口での対応なので、申請もれ対策になっている。問題点は、県内医療機関に限られるため、他県では従来方式となる。

問
被保険者への払い戻しの簡素化は。

答：町長
手続きを簡素化しており、今後もこの制度で実施していく。

問
一般高額医療費の払い戻し手続きにも取り組むべきでは。

答：町長
現在の制度で実施する。

問
小学校3年生までの30人規模学級と、4年生以上への県教育委員会の市町村支援策の評価は。

答：功刀教育委員長
平成16年度以降の高学年への拡大実施も、低学年同様に県主体事業で行われるべきだ。

問
本郷小学校5年生は40名で1クラス、進級時2クラスを考えているか。

答：小松教育長
6年生に移る時は学級編成に教育的配慮をする。

問
合併により一部事務組合の関係で、町が受ける影響は。

答：町長
私が想定するなかではない。

さあ　明日は運動会だ！（境小）

有害鳥獣の被害と対応は

小池一夫　議員

問：小池一夫議員
有害鳥獣の被害状況は。

答：矢嶋町長
猿・鹿・イノシシの農作物被害は32件、被害額は180万円、猿4・鹿9・イノシシ10の計24頭を捕獲した。被害は昨年同期に比べて増加した。今後の対策として猟友会に依頼しての銃器・わな・檻による駆除、忌避剤の支給、防護柵の補強、電気柵の試験設置、檻設置への資材支給、ロケット花火配布などを行う。また近隣自治体間で広域対応の情報交換を行っている。

問
8月5日の集中豪雨災害の被害状況と被害額は。

答：町長
町道関係11箇所、河川水路関係8箇所で、被害額は943万円。林務関係は2箇所で125万円。

問
急傾斜地で崩落の恐れある地域への対応は。各集落から提出された陳情書への対応は。

答：町長
災害から地域住民の生命財産を保護し、国土保全をすることは治山治水事業を含め重要。要望事項すべてに応えることはできないが、現地を区長らと確認して緊急性の高いもの、事業費の状況など勘案し実施するか否かを決定する。

問
農地の維持確保に関連する補助事業は。

答：町長
中山間地域等直接支払いは16年度まで5年間の国県補助事業。該当集落では共同作業や話し合いの機会が増え、集落全体が活性化したと聞く。事業の強い継続希望があり、関係機関に延長を要望したい。

猿に食い荒らされたトウモロコシ畑（落合地区）